

私見 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) について

長期間にわたる新型コロナウイルス感染症対策としての自宅待機、自粛でお疲れの方が多くはないでしょうか？

いつまでこの規制が続くのか、心配になる方もいらっしゃると思います。

連日マスクが騒いでくれるので、情報には事欠かないです。

今回のCOVID-19のいやらしいところは重症な方は少ないのに潜伏期が長く、長期間の待機を強いられるところです。

インフルエンザのように潜伏期間が1-2日、治療薬も存在するとすれば、かかっても何とかするという気持ちでいられます。

COVID-19は、現時点では予防法もない、治療法もない状況ですから、どうしても心配になってしまいますね。

と、言って大騒ぎするのもどうかと思います。

マスクがウイルスの恐怖を連日訴えています、感染者のピークを越えたら報道は途端にグッと減るのでしょうか。そういうものです。

COVID-19をなめてはいけませんが、必要以上に恐れてはいけません。

もうすでに大半の人が感染している可能性は低くないと考えられます。

COVID-19が国の指定感染症からはずれ、PCR検査陽性であっても無症状、軽症の方は自宅で待機、安静となります。

そうなれば基幹病院のベッドはかなり空きます。

医療スタッフ重症患者さんのケアに専念できます。

太古の昔からウイルスと人間はずっと闘いを繰り返してきました。

スペイン風邪、SARS、新型インフルエンザなどが有名ですが、数十年に1回新たなウイルスの出現、流行が起こり、毎回それを乗り越えてきました。

今回の件が、人類に対して今立ち止まって、過去を振り返って、今後の生き方を考えさせられるタイミングをくれたと考えられる人はどれだけいるのでしょうか。

全世界で助け合って進んでいく。そんな時代を迎えようとしています。

もうしばらくの辛抱です。必ずウイルスに感染は終息します。

終息したあかつきには現在自分が持てるエネルギーを爆発させて躍動しましょう。

その日のために、今できることを1つ1つこなしていきましょう。

以上、独断と偏見で書かせていただきました。

(令和2年4月23日記)



新型コロナウイルス感染症の自粛に伴って起きていること

現在、自粛、在宅勤務の長期化に伴い「心」の問題が起こり始めています。

この1ヶ月間で相談も増えてきました。

患者さんの訴えの一部を紹介します。

- ノドがつまった感じがする
- 便秘になった
- 呼吸がしづらい
- めまい、ふらつきが始まった
- 夫が咳をしているのを見たら、
動悸が始まった
- お子さんの夜泣きが始まった
- 急に泣くようになった
- 寝つきが悪くなった、眠れない

これらは外来で対応します。必要があれば専門医へ紹介も致します。

西洋薬も使えますし、漢方薬で軽快するものもあります。

気になったら早めに受診して下さい。



お知らせ

岐阜市の漢方外来予定日 5月9日(土)、23日(土)

時間：14:00-17:30 場所：中島小児科(岐阜市鍵屋東町2-1) ※すべて「院外処方」です。

小児夜間急病センター当番日 5月15日(金)

19:30-22:30(受付) 場所：岐阜市民病院にて

もとす休日診療所当番日 5月4日(月)

9:00-16:00 場所：もとす休日診療所にて

休診のお知らせ 5月27日(水)

都合により休診します。御迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します。